

「シトラスリボン」でコロナ差別をなくしたい

笠間高校・友部高校JRC部が「シトラスリボン・プロジェクト」に参加

12月7日、笠間高校・友部高校 JRC部から笠間市へ、「シトラスリボン」1,100個が贈られました。市議会、市職員がリボンを身に着けることで、コロナ禍での不当な差別・偏見の防止を呼びかけます。



部員を代表し、市長室を訪れたみなさん

(左から)友部高校 関根先生・寺島 力斗さん・塚田 愛梨さん・堀 大輝さん、山口市長、笠間高校 三宅 諒さん・高野 愛結さん・高野 美結さん・長谷川先生

【シトラスリボン・プロジェクトとは】

コロナ禍での差別・偏見を耳にした愛媛県の有志がはじめた取り組み。

シトラス色のリボンを身に着けることで、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表し、“たとえウイルスに感染しても、だれもが地域で笑顔の暮らしを取り戻せる社会に”という想いが込められています。

◆シトラス・プロジェクトの詳細 <https://citrus-ribbon.com/>

【笠間・友部高校の取り組みについて】

“福祉活動をしたい”、“コロナ禍での不当な差別をなくしたい”という想いをきっかけに、笠間市社会福祉協議会と友部高校JRC部が協力し、このプロジェクトに参加。その後、笠間高校JRC部にも活動が広がった。休み時間などを利用し、1,430個のリボンを製作。

〈部員数〉県立笠間高校 44名、県立友部高校 18名

【市長コメント】

コロナ禍で、医療従事者や感染者に対する差別や偏見が問題となっているなかで、意志をもち、プロジェクトに取り組む生徒の皆さんに、感謝と敬意を表します。シトラスリボンを身に着けることで、笠間市から差別防止を呼び掛けていきたいと思えます。

この件に関するお問い合わせ

笠間市社会福祉協議会 担当:松田

電話番号:0296-77-0730 ファックス番号:0296-78-3933 e-mail: info@kasama-syakyo.jp